

## 学びと育ちをつなげる保幼小接続 ～遊び込みから学び込みへ～

この講座では、「保育者は、幼児期の子どもどのような育ちを小学校に伝えるとよいのか」「小学校は、どのような視点で保育を参観し、幼児期の子ども育ちを見取るとよいのか」ということについて、鳴門教育大学の木下光二先生にご講演いただきます。

木下光二先生は、小学校と幼稚園の両方の勤務を経て、鳴門教育大学に勤務されていらっしゃる先生です。小学校勤務時代は、8回の1年担任経験があり、小学校教頭1年目、幼稚園に誘われて、初めての幼稚園では5歳児の担任を持たれたそうです。そして、それは「人生であんなに大変だったことはなかった」時だそうですが、幼小の両方の経験をお持ちだからこそお話いただけることとお聞きし、学んでいきたいと思えます。



**日時** 平成29年8月10日（木）13：30～16：30（12：30受付開始）

**会場** 福井県立大学 永平寺キャンパス 交流センター1階 講堂  
（福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1-1）

※連絡は、県立大学にはしないようにお願いします。欠席等の連絡は、必ずFAXにて幼児教育支援センター 0776-41-4232 をお願いします。

※お車で越しの方は、お時間に余裕をみて、乗り合わせでのご来場にご協力ください。当日県立大学では別の研究会も予定されているため、駐車場の混雑が予想されます（2枚目の駐車場の地図参照）。

**日程** 12：30～13：30 受付  
13：30～13：35 開会挨拶  
13：35～15：05 講演会 鳴門教育大学 木下光二 教授  
「学びと育ちをつなげる保幼小接続～遊び込みから学び込みへ～」  
15：05～15：15 質疑応答・感想交流  
15：15～15：30 休憩  
15：30～16：10 グループ協議：お近くの方と持参された子どもの写真や資料等を見合いながら、自園・自校・自クラス等で子どもの学びや育ちを紹介し合う。講演で得た視点も交えながら話し合う。  
16：10～16：30 質疑応答、アンケート記入、閉会

**申込み** すでに申込みの受付は終了しています。（各小学校区での〆切 平成29年6月14日）

**持ち物** ご自分が紹介する話に合わせた子どもの写真や資料（グループの方に渡すことは考えていません）、必要な方はクリップボード等

**問合せ** 福井県教育庁義務教育課 幼児教育支援グループ（0776-20-0732）  
福井県幼児教育支援センター（0776-41-4231）

※講師紹介 木下光二氏

○鳴門教育大学大学院学校教育研究科教員養成特別コース教授

○徳島県公立小学校教諭から鳴門教育大学附属小学校教諭・教頭、鳴門教育大学附属幼稚園教諭・教頭を歴任

○研究分野は、幼児教育及び小学校教育、教師教育、情報教育

○文部科学省「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議」委員

<保幼小接続と新要領等との関わりから>

新幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・保育所保育指針の3歳以上の教育の部分は共通化され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が示されました。保育者には、幼児期の子どもの育ちを伝えていくことが求められています。また、新小学校学習指導要領の総則「学校段階等間の接続」の中で、幼児教育と小学校教育の接続が明記されました。小学校教員には、幼児期の子どもの育ちを理解し小学校教育につなげていくことが求められています。

## 【駐車場に関して】

お車でご来場の方は、お時間に余裕をみて、乗り合わせでのご来場に御協力をお願いいたします。  
当日県立大学では別の研究会も予定されているため、駐車場の混雑が予想されます。  
下記の駐車場の地図の**第2、第3、第4駐車場**をご利用ください。

